

代幾 I 演習 (2006/06/22)

問題 114 2 行 2 列の行列 $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} \\ a_{21} & a_{22} \end{pmatrix}$ が、二つの縦ベクトル $x = \begin{pmatrix} a_{11} \\ a_{21} \end{pmatrix}$, $y = \begin{pmatrix} a_{12} \\ a_{22} \end{pmatrix}$ を用いて、 $A = (x, y)$ と表されている時、次の問に答えなさい。

1. $a_{21} = 0$ ならば、 $|A| = a_{11}a_{22}$ であることを示しなさい。
2. 任意の実数 c に対して、 $\det(x - cy, y) = |A|$ であることを示しなさい。
3. 2 行 2 列の行列 $B = \begin{pmatrix} b_{11} & b_{12} \\ b_{21} & b_{22} \end{pmatrix}$ が、上記のベクトル x, y を使って、 $B = (x - \frac{a_{21}}{a_{22}}y, y)$ と表されている (ただし、 $a_{22} \neq 0$ とする) 時、 B の各々の要素 b_{ij} の値を a_{ij} を用いて表しなさい
4. 行列 $C = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$ に対して、 $|D| = |C|$ を満たし、 $D = \begin{pmatrix} x & 2 \\ 0 & 4 \end{pmatrix}$ となるような x を求めなさい。また、この時、 $|D|$ と $|C|$ の値をそれぞれ求めなさい。

問題 115 3 行 3 列の行列 $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{pmatrix}$ が、三つの縦ベクトル $x = \begin{pmatrix} a_{11} \\ a_{21} \\ a_{31} \end{pmatrix}$, $y = \begin{pmatrix} a_{12} \\ a_{22} \\ a_{32} \end{pmatrix}$, $z = \begin{pmatrix} a_{13} \\ a_{23} \\ a_{33} \end{pmatrix}$ を用いて、 $A = (x, y, z)$ と表されている時、次の問に答えなさい。

1. $a_{21} = a_{32} = a_{31} = 0$ ならば、 $|A| = a_{11}a_{22}a_{33}$ であることを示しなさい。
2. 任意の実数 c に対して、 $\det(x - cy, y, z) = |A|$ であることを示しなさい。
3. 3 行 3 列の行列 $B = \begin{pmatrix} b_{11} & b_{12} & b_{13} \\ b_{21} & b_{22} & b_{23} \\ b_{31} & b_{32} & b_{33} \end{pmatrix}$ が、上記のベクトル x, y, z を使って、 $B = (x, y - \frac{a_{32}}{a_{33}}z, z)$ と表されている (ただし、 $a_{33} \neq 0$ とする) 時、 B の各々の要素 b_{ij} の値を a_{ij} を用いて表しなさい。
4. 行列 $C = \begin{pmatrix} -4 & -3 & -2 \\ -1 & 0 & 1 \\ 2 & 3 & 4 \end{pmatrix}$ に対して、 $|D| = |C|$ を満たし、 $D = \begin{pmatrix} u & -\frac{3}{2} & -2 \\ 0 & v & 1 \\ 0 & 0 & 4 \end{pmatrix}$ となるような u, v を求めなさい (このような、 u, v の組は、一組とは限らないが、どれか一つを求めればよい。)。また、この時、 $|D|$ と $|C|$ の値をそれぞれ求めなさい。

問題 116 行列 A と x, y, z が $Ax = \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}$, $Ay = \begin{pmatrix} 1 \\ -3 \\ 2 \end{pmatrix}$, $Az = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -3 \end{pmatrix}$, を満たすとき $A(-x + 2y + z)$ を求めよ。

問題 117 2 行 2 列の行列 $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} \\ a_{21} & a_{22} \end{pmatrix}$ に対して、 ${}^tA = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{21} \\ a_{12} & a_{22} \end{pmatrix}$ を行列 A の転置行列と呼ぶ。この時 $|A| = |{}^tA|$ であることを示しなさい。

問題 118 3 行 3 列の行列 $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{pmatrix}$ に対して、 ${}^tA = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{21} & a_{31} \\ a_{12} & a_{22} & a_{32} \\ a_{13} & a_{23} & a_{33} \end{pmatrix}$ を行列 A の転置行列と呼ぶ。この時 $|A| = |{}^tA|$ であることを示しなさい。

問題 119 行列 A の複素共役行列を、 \bar{A} で、表すとする。この時、次の定理を証明せよ。

1. $\overline{\bar{A}} = A$
2. $\overline{A + B} = \bar{A} + \bar{B}$
3. $\overline{cA} = \bar{c}\bar{A}$
4. $\overline{(AB)} = (\bar{A})(\bar{B})$

問題 120 行列 A の転置行列を tA , 複素共役行列を、 \bar{A} で、表すとする。この時、次の定理を証明せよ。

1. ${}^t({}^tA) = A$
2. ${}^t(\bar{A}) = \overline{{}^tA}$
3. ${}^t(A + B) = {}^tA + {}^tB$
4. ${}^t(cA) = c{}^tA$
5. ${}^t(AB) = {}^tB{}^tA$

問題 121 三次元空間の二つの直線 l_1, l_2 がそれぞれ、点 P_1, P_2 (その位置ベクトルは、 p_1, p_2 とする) を通り、ベクトル a_1, a_2 に平行である時、この二つの直線の距離を、ベクトル p_1, p_2, a_1, a_2 を用いて表せ。